

進化する映像技術

地 デジ番組の開始に始まり、3D やそれを表示するシステム等近年映像を駆使したサービスが活発になってきています。

今回はこの映像技術について、触れてみたいと思います。まず、近年話題の「地上デジタル放送」所謂「地デジ」。テレビ局各社でも呼びかけているように、2011年には従来のアナログ放送が終了し、この地デジが基本的なテレビになります。

地デジになる最も分かりやすいメリットは、映像がとても高画質に、つまり綺麗になると言った点です。これは従来のアナログ放送と比べると格段に綺麗な映像を届けることができます。

ではどうしてこのように従来より、より綺麗に見せることができるのか。それは映像を記録、配信するメディアの進化が合ったからこそといえます。例えば地デジにしても3D映像にしても特徴的なのは、今までより綺麗であったり、今までとは違った効果を楽しめること。つまり、情報量自体が従来の映像に付加されている部分があるということです。

従来より、沢山の情報を使い、映像を見せるには当然それに伴った環境の整備が必要となります。今までは映画館や公共施設、専門機関でしかこれを行なうことが出来ませんでした。技術的な整備も進み2010年からは本格的に、綺麗な映像や今までにない効果を一般の環境でも楽しめるようになったと言えます。

今では、家庭用テレビにも3D効果を楽しめるものが出ていたり、これからの映像制作は、今までより、一層ユーザーに新しいエンターテインメントを提供することができるようになるでしょう。

それにしても、この3D技術は一体どこまで進化するのでしょうか？現在は、二点からの映像の作成を行ない、実際には存在しない、画面上での奥行きを表現し、あたかも画面から飛び出す用に見せています。しかし、実際には、専用の眼鏡が必要であったりそれ専用の映像でなくてはいけなかったりまだまだ気軽に楽しめるという訳ではありません。しかし、今3Dによる映像を実際には何もない空間に映し出すといった、技術も展開されており、まだまだ、試作段階ですが、今後の技術の発展にも期待です。

また、一口に3Dと言っても、様々な方向から新しい技術が生まれています。例えばWEB上で今注目されている技術の一つにARマーカーを使ったサービスがあります。用意するのはWEBカメラ一台。最近ではノートパソコンに始めから取り付けられているものもあります。

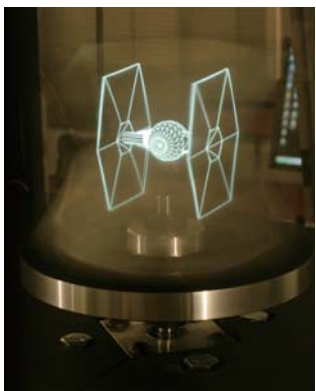
これを使って、専用のARマーカーと呼ばれるマークを紙に印刷し、これをWEBカメラにかざすことで画面上に3Dの映像を映し出すというものです。

映像技術は何処まで進化するのか？

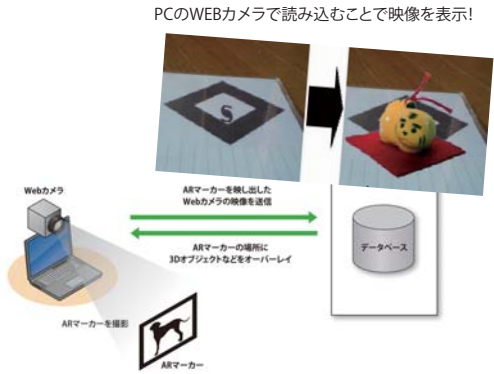
ここまでご紹介したように、映像技術は日々進歩しています。媒体を問わず映像、又は視覚に訴えることで、新しい体験をさせるというサービスが日々増えています。ARマーカーにしる、FLASH技術にしる、WEBも環境の整備により情報伝達の表現方法の幅が格段に広がったと言えます。

今後、発信媒体などの環境の整備に伴い、ますます映像技術は進化することでしょう。これにより、今までにない、より楽しく、より便利なサービスが提供されることでしょう。

進化する映像技術



▲立体ホログラムイメージ



PCのWEBカメラで読み込むことで映像を表示!

ARマーカーを映したWebカメラの映像を送信

ARマーカーの場所に3Dオブジェクトなどをオーバーレイ


データベース

Webカメラ

ARマーカーを撮影

ARマーカー

▲ARマーカー使用イメージ



▲「PC用3D立体視聴キット」使用イメージ